

# 研究の進め方

## 仮説検証型研究の進め方

研究部 理科 茂呂 良彦

# 教育研究に対する批判

- 研究主題(テーマ)が、大きすぎる、抽象的すぎる。
- 研究の目的や目標が、あやふやで不明確。
- 他人の意見か、自分の意見かはっきりしない。
- 研究方法が、科学的でない。
- 研究を再現できない。
- 実践報告になっている。
- 研究仮説の設定の仕方がでたらめである。
- 証拠資料の提示がない。
- 独断的な結論の出し方をする。(主観的な見解。)

# 教育研究に対する批判

- 教師の独特な発想による用語が多く、わかりにくい。  
(ゆさぶり、みがき合いなど)
- 方法や結果は詳述してあるが、考察がしてない。
- 引用文献や参考文献のないものがある。
- 統計処理の間違が多い。
- 同じようなテーマの教育研究があちこちの学校で、それぞれ無関係に行われている。
- 資料が乏しく、印象や感想めいたものが多い。
- 情意的である。

# 報告と研究との違いは何か？

**報告** 子どもへの働き掛けとその結果をまとめたもの。

**研究** 子どもへの働き掛けとその結果から、相関関係、因果関係を読み解き、新たな事実や事象（問題点の提起や方法の提案）が提示されたもの。

あらためて、

## 研究とは何か？

何らかの事実や事象を、

根拠をもって

明らかにしていく作業である。

あらためて、

## 研究とは何か？

したがって、

研究を始める際には、「自分はこの研究で何を明らかにしようとしているのか」を明確にして臨む必要がある。

したがって、

研究を終える際には、「自分はこの研究で何を明らかにしたか」が明確になっていなければならない。

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
A 実践研究	課題について、実際に学級を用いて実践を行い、指導上の問題点の抽出や指導仮説を提案したり、平素実践している指導法の効果を見極めたりする研究	・問題点→授業実践→問題点の抽出、指導仮説の提案、指導法の効果検証等
B 調査研究	調査を実施し、その結果を分析したり、考察したりする研究	・事前調査→問題解決のための調査仮説設定→検証のための事後調査 等
C 事例研究	特定の児童・生徒や事象を対象にして行われる研究	・因果関係の追求→指導法の発見 等 ・新しい指導法を指導仮説として実践→効果を検証 等
D 教材開発研究	教育実践に役立つ教材や教具の開発を目的に行う研究	・学問的背景→教材・教具開発→学級での実践吟味 等

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
A 実践研究	課題について、実際に学級を用いて実践を行い、指導上の問題点の抽出や指導仮説を提案したり、平素実践している指導法の効果を見極めたりする研究	問題点 ↓ 授業実践 ↓ 問題点の抽出、指導仮説の提案、指導法の効果検証等

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
A 実践研究	課題について、実際に学級を用いて実践を行い、指導上の問題点の抽出や指導仮説を提案したり、平素実践している指導法の効果を見極めたりする研究	・問題点→授業実践→問題点の抽出、指導仮説の提案、指導法の効果検証等
B 調査研究	調査を実施し、その結果を分析したり、考察したりする研究	・事前調査→問題解決のための調査仮説設定→検証のための事後調査 等
C 事例研究	特定の児童・生徒や事象を対象にして行われる研究	・因果関係の追求→指導法の発見 等 ・新しい指導法を指導仮説として実践→効果を検証 等
D 教材開発研究	教育実践に役立つ教材や教具の開発を目的に行う研究	・学問的背景→教材・教具開発→学級での実践吟味 等

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
B 調査研究	調査を実施し、その結果を分析したり、考察したりする研究	・事前調査 ↓ 問題解決のための調査仮説設定 ↓ 検証のための事後調査 等

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
C 事例研究	特定の児童・生徒や事象を対象に行われる研究	因果関係の追求 ↓ 指導法の発見 等  新しい指導法を指導仮説として実践 ↓ 効果を検証 等

# 現在行われている研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
D 教材開発研究	教育実践に役立つ教材や教具の開発を目的に行う研究	学問的背景 ↓ 教材・教具開発 ↓ 学級での実践吟味等

# 仮説検証型の研究

研究の種類	研究内容の例	研究方法の例
A 実践研究	課題について、実際に学級を用いて実践を行い、指導上の問題点の抽出や指導仮説を提案したり、平素実践している指導法の効果を見極めたりする研究	・問題点→授業実践→問題点の抽出、指導仮説の提案、指導法の効果検証等
B 調査研究	調査を実施し、その結果を分析したり、考察したりする研究	・事前調査→問題解決のための調査仮説設定→検証のための事後調査等
C 事例研究	特定の児童・生徒や事象を対象にして行われる研究	・因果関係の追求→指導法の発見等 ・新しい指導法を指導仮説として実践→効果を検証等
D 教材開発研究	教育実践に役立つ教材や教具の開発を目的に行う研究	・学問的背景→教材・教具開発→学級での実践吟味等

教育研究の多くは、広義に実践研究に分類されるものが多い。

# 仮説検証型研究

## 1 観察・分析

データ収集、実態把握、課題の明確化

## 2 仮説の設定

課題解決の方法、手段の設定

## 3 検証

実践、考察、仮説の修正、再実践・再検証

# 仮説検証型研究

## ○ 長所

研究の内容が焦点化され、具体的な研究となって、他の人にわかりやすいものになる。

# 仮説検証型研究

## ▲ 弱点

仮説検証という言葉につられて、仮説ばかりに目が行く。

仮説は変更しないものだと考える。

仮説は正しいという立場で実践を振り返るため、実際の表れと違った子どもの姿でまとめてしまう。